

写真展アンケート 自由記述欄

No.	属性(年代・性別)	コメント
7	20代未満・男性	今年、東京に進学してきたが、自分のイメージと異なる視点から取られていた。
12	20代・女性	日常の風景の中の、普段には見えないものを見えます。思考を巡らせます。
13	20代・男性	きらめきの回廊は、どのように社会的に分析できるのだろうか？全体を通じて思ったことは、どれも新聞記事にありそうな感じに見えたということだ。写真と文章によってニュースをわかりやすく自分の中で知識として取り込めることを実感した。あとなぜ男子学生はスーツなんですか。
14	20代・男性	12映える「怒り」のメッセージは、心をえぐる程衝撃を受けた気がした。政治に無関心な若者の一人である私に、この2作品込められた批判、デモを行う若者たちの確かな声に耳を塞ぐことを許さない。「君はどうするんだい」と私に尋ねる大人たち、先生、友達に受け応えることは難しいと思う。実は私は、放射能に汚染された村出身である。3.11に何も考えを持っていない訳ではない。もしやこれは、私も政治的メッセージを含むアートをするよいきっかけではないか。少なくとも、政治の現状を看過しない良いきっかけではないかと感じた。良き写真と文章に会えて嬉しかった。
18	20代・男性	それぞれの写真に個性や物語があって、面白かった。
19	20代・男性	日頃、見ている世界がいざこうして写真を通して見てみると今までとは違う感じ方を共感できました。
21	20代・女性	普段、ただの景色になってしまっている街中の広告も、写真として切り取り、観察し考えることで、様々なメッセージが受け取れ、面白かった。
22	20代・女性	身近な東京を感じることができました。面白かったです。
27	20代・男性	時の流れは速いので、1990年代の写真では映える東京の姿が全く違うことを実感した。
29	20代・男性	07の言葉と音のバトルがとても印象に残った！川崎サイファーという文化は最近の若者文化を象徴しているものであり、若者のあり場行き方を素直に写真1枚で示されていてとても気に入った。きらめきの回廊の作品は幻想的な世界観を表していてとても面白い作品であると感じた06の中吊りも時代に応じた懐かしさを感じることができてとても良い作品であると感じた。
37	20代・男性	デザインでカモフラージュという展示で、明治神宮の修復をプリントされたもので、カモフラージュしていて面白かった。最近よく街中でも壁紙でカモフラージュしているものも多く、昔にはなかったものが今は普通になったのだと思った。ディズニーや雷門もしてあり時代の流れを感じた。
38	20代・女性	15番の作品が個人的に今っぽくて好きでした。
39	20代・女性	朝日新聞の記事のが短文で端的に分かりやすく述べていると感じました。
40	20代・女性	写真で切り取り、じっくり見るからこそ見えてくるものがあるんだと改めて実感しました。写真を見てから文章を読むと、自分とは多少違う観点から論じていたり、様々な視点から見ることができ、とても有意義でした。
41	20代・女性	上映作品も丁寧に作られていて良かったです。
42	20代・女性	上映作品を見たのですが、下高井戸・桜上水の良さをたくさん見ることができ、行ってみたいお店も増えました。
43	20代・女性	綺麗な桜の絵に惹かれ、文章とのギャップに感銘を受けた。少子高齢化問題の中で、高齢者の貧困は特に問題となっている。アルミ缶を集め、収入を得ている写真に写っていた男性もそのうちの一人なのだろう。日本を築いてきた先人も貧困に喘ぎ、若者は超過労働に苦しむ。日本の未来は暗い気がする。若者の政治に積極的な参加が求められると思った。
46	20代・男性	普段、何気なく目にしている日常を気をつけて見てみると社会学的な意味が込められていると知った。

49	20代・女性	机が限られているので、立ってでも書ける机など用意したら良いかと思います。2つの作品の共通点?のようなものも展示されていて、それぞれのキャプションがとても魅力的だった。
50	20代・女性	組み合わせ作品とあったが、いまいちどこが組み合わせなのか、疑問に思うものがあったように感じる。"東京"というだけでこれだけの見方があるのが面白いと思う。新しい写真作品をもっと見たかった。
51	20代・女性	東京に住んでいるので当たり前になっていましたが、自分が人混みを自然に避けていることに気づいた。お茶でも良いのでさっぱりしたものがあるといいと思います。
52	20代・男性	コーヒー以外にも甘い飲み物が欲しかった。07番のサイファーは、横浜にもサイファーがあり、少し近寄り難い雰囲気がある中、取材をしたのがすごいと思った。
53	20代・男性	写真としての質も高く、社会的価値も得られ、見応えがありました。
55	20代・女性	ルミネの休憩所は何度も利用したことがあるが、広告機能として意識したことがありませんでした。確かに彼女達の持つショッパーや彼女達の存在自体が集客を促していると思った。
56	20代・女性	03)普段から身につける靴1つで捉え方が違うと、写真の撮り方や見方も変わることを感じた。
58	20代・女性	席が少ないと思います。
59	20代・女性	普段よく見る光景に疑問を持ってそれぞれコメントされていて、写真と合わせて読むと面白かったです。
63	20代・女性	分かりづらかったです。比較していることにしばらく気づきませんでした。
66	20代・男性	貴重な作品の数々に触れることができ、有意義な時間を過ごすことができました。
67	20代・男性	写真の許可を取っているのが少し心配になりました。
68	20代・男性	ポケモンGOは、それ自体に人気が出たのではなくて、人気が出た「ゲーム」に人気が出たのではないかと思います。「日本人」だと感じる光景だと思いました。
69	20代・男性	マグロとりんごの集荷と出荷から東京という大都市の持つ力強さ「東京」という言葉の持つ関係性を創るこだわりが見て取れた。
70	20代・女性	ついこの間まで札幌の時計台も工事中に外観を損なわないように幕がかかっているのを思い出しました。
71	20代・女性	作品を見て、私たちが普段何気無く通っている道や、何気無く日常生活を過ごす中での風景が写真によって切り取られていて、ハッとさせられることがたくさんありました。また、例えば工事現場も女子高生がインスタ映えするスポットになっていたり、この場所は女性が多く集まる場所だということがわかったり、そこから見えてくる社会的な背景まで写真によって感じられると思いました。
72	20代・女性	全てとても素敵で、とても興味をそそられる紹介文でした。その中でも自分は特に17と18の作品が素晴らしいと思い、丸をつけさせてもらいました。17では朝日新聞の方で、まだ開通前でカモメが休憩する築地大橋と後藤ゼミの方で、一方、古くから（東京オリンピック当時から）ある日本橋を対比しているところにとってもセンスを感じました。私個人として、東野圭吾の『新参者』シリーズの麒麟の翼の話がとても好きなので、実際に日本橋に行って銅像を見たこともあるのですが、日本橋の町は東京の中でも古さの未だ残る貴重な良い町で好きだと思いました。
74	20代・女性	朝日新聞の方の文章は、新聞らしいものだった。（紹介文みたいな）それに加えて社会的な意見を加えてもいいのかなと思った。
75	20代・女性	16番の作品が一番印象に残った。現代化とそれに残しながらも変化していく感じと「金と神」という言葉に惹きつけられた。
77	20代・女性	2作品についての文章が字が小さく読みづらかった。もう少し目立たせる工夫をした方が良かった。
79	20代・男性	ライティングされている作品とされていない作品があるのはなぜなのでしょう。

80	20代・男性	今年は、朝日新聞と関連する写真を組み合わせての展示ということで、例年とは違った面白さがあったと思います。
82	20代・男性	どこから見れば良いのかわからない。
83	20代・男性	居心地が良い。
84	20代・男性	一枚の写真にも、複合的な社会環境がぶつかりながらも共存している様子が浮かび上がってきて興味深かった。
86	20代・男性	一步外へ、笑顔咲く。出産鬱や、出産後の母親達に対する救いの手を差し伸べるそんな一枚だと思った。この一枚で、出産に対する考えが、プラスの方向へ傾くのだと思う。
88	20代・男性	こんなにも写真に影響力があるとは思わなかった。写真があることで、より。
89	20代・女性	当たり前だと思っている東京の景色を改めて見つめ直すことができた。
90	20代・男性	今はスマホがあるから見ないかなと思った。
91	20代・男性	自分の趣味に合う写真があって非常によかった。特に02の桜の写真は、下に写っている方と調和していて、生きるということが何か想像できる感じがした。
92	20代・女性	6番の後藤ゼミの作品で電車の広告に視線が行くという作品が印象に残った。しかし、これは1998年の作品でスマホやSNSなどが無い時代だったので、現代の人は電車の中でもスマホばかりを見ているので広告を見る人は少ないのでは無いかと思った。
95	20代・女性	ポスターを見た際、"社会学"を写真でみるとは、どういったことなのだろうと思ったが、様々な東京を伺うことができた。来年度もあれば参加したい。
97	20代・男性	11番の写真は自分たちの若い年代はスマホが当たり前になっているので電車の中でも使っているのが当たり前だが、それが異常な光景だと意識したことはなかった。
98	20代・女性	11番の作品を見て、ポケモンGOが社会現象になった事を思い出した。普段では待ち合わせに使われていた場所もみんなケータイを見る人が大勢いる。逆にいつもは、人がいなかった場所に人が集まる。などいてこの社会現象はすごいと思った。
99	20代・女性	全部自分では思い浮かべられないような視点で写真が取られて、それを考察していて、すごいと思った。
100	20代・女性	対になっている作品の年代がそれぞれ異なっても通じるものを感じられ、不思議な感覚が味わえる展示だった。写真は時代背景をよくうつす鏡だと思った。
103	60代・男性	初めてきましたが、とても興味深く刺激をもらいました。社会学のおもしろさが伝わってくる内容だと思いました。ゆっくり見れる会場もよかったです。組み合わせはもう一段視点が複数化しておもしろい試みだと思いました。今回は二枚の「共通性」が多かったように感じましたが、「対称性」「ズレ」を持った組み合わせもあってとてもいい感じでした。「映像フィールドワーク」演習の作品も見てみたかったです。ブックレットの分厚さには感銘を受けました。
118	60代・男性	コラボが成功していると感心しました。コメントも朝日よりゼミのほうがびったり来ます。昔のコメントが今も使えている。同じことを繰り返しているのだろうか、この世の中は。
122	20代・男性	朝日新聞とのコラボとてもすばらしいと思います。
125	60代・男性	東京のときの移り変わりの中でのいろんな場面や人々の表情が興味深く描かれている。昔を思い出す（東京生活44年）
146	60代・女性	ポスターの文々は誰が書いたのでしょうか？とてもよくかけていて面白い文章だと思いました。
150	20代・男性	「東京都」に限定せず「首都圏」での写真を見てみたい。埼玉、神奈川、千葉（あと茨城の一部）は生活の場、東京23区は仕事の間、夜になるとドーナツ化する都会と郊外がセットで一つの「東京」になっているはず。

151	20代・男性	毎年ありがとうございます。05のように明らかにかわりがある作品から、6~10のように全くわからないものまであって面白かったです。
152	20代・男性	展示自体は陳列の仕方も、照明もよくてとても見やすいと思います。しかし、テレビの音が若干うるさく感じます。できれば展示場内ではクラシック曲を流し、テレビのところだけ小音量にする、というようなセッティングだったら参観心地はもっとよくなると思います。
154	20代・男性	朝日新聞社のほうが撮影された写真は多少（かなり?）演出を加えているのもあって、やはり目を引くものが多いと感じました。また、文章も「写真の補足」ではなく、それだけで十分な説得力をもっている印象を受けました。そのインパクトが写真によって強められており、文章と写真が対等な強さを持っているように感じました。 大学院社会学専攻
157	60代・男性	1990年代後半の写真がいかんにも一昔前という感じがしますね。約20年でケータイ・スマホが日常で欠かせないものになりアナログからデジタルへと変化してきたと感じられます。07の公衆電話の列が懐かしい風景です。
161	40代・男性	今年は今までと違って新作の写真がないことに驚きましたが、どの作品も興味深く拝見しました。お疲れ様でした。
165	20代・男性	一見なんの関連性もなさそうに見える一組の作品が解説文を通して一貫した社会現象を示しているところが面白かった。
172	10代・女性	説明してくれた学生さんの対応がよかったです。07番のやつ、自分も川崎に住んでいるので親近感わきました。短い時間楽しませてもらいました。
178	10代・女性	日頃、何気なく通っている場所も、写真で取り上げられることで改めてその面白さに気づかされました。
180	20代・男性	やはり朝日新聞の写真のほうが構造が、。しかし、ゼミの人たちの写真の熱意を感じた。
181	20代・男性	朝日新聞の写真を見るとプロである格の違いを知りました。でも、文を読むと写真の意味を知り、有意義なことだと思います。
183	10代・男性	歴史的構造が好きなのでいいと思った。
189	10代・男性	歴史感があってすばらしいと思いました。
192	10代・男性	私のタイプの写真があり、自分も撮ろうと思いました。
199	10代・女性	とても面白く会場内も広々としていて開放感を感じることができました。
205	20代・女性	工事現場の壁までもおしゃれな原宿。作品は1999年のものだが、今と同じような光景が目に見える。今ではおそらくインスタ映えとってこの壁もインスタ映えスポットとして若者がたまっていたに違いない。これを見るとおしゃれなものやおしゃれな写真を撮ろうとする若者の文化は今も少し前も変わらないんだなと思った。
206	20代・男性	コーヒー以外にもココアがあるといいと思った。
208	20代・男性	私は少年の頃から将棋を祖父と一緒によくやっていた。祖父は3年前に他界したが、将棋したシーンは今も色あせない。将棋のルールが簡単だからか将棋は気軽に老若男女が始められる可能性を持つボードゲームだ。そのようなボードゲームを町に置くと、5.見られる/魅せる対局の2作品のようなシーンをみるができるだろう。パーにて、話す場を設けるチャンスの一つとしての囲碁盤、できる人もできない人も楽しめる場の中心にある将棋盤。社会相互行為をしやすい環境の中心にある大きな将棋盤は祖父との思い出を果たせられるノスタルジックなものである。
209	20代・女性	05新橋大盤将棋の写真が幼い頃の思い出を思い出させました。子供のときおじいさんもよく何時間もかけて外で将棋をしていました。今のおじいさんは既に将棋をやめてインターネットに流れている大量な記事に目を向け、外で将棋する友達づくりではなく、スマホで友達を作るようにしています。逆に私はスマホ時代に疲れを感じどこに行っても仕事の電話がかかってくるかもしれませんし、友達とつき合って遊びたいです。しかし、グローバルの世界（私も外国にいる身）において、スマホなしで友達と遊ぶことは不可能になっています。

210	20代・男性	2番のような東京においても存在する人の格差、恥によって働く場所を選ぶのが知れてよかった。4番のようなコスプレは人によってはなりたいキャラクターにあわせて肉体改造を行うと聞いた。変身への欲求は奥深い。6番の中吊り広告は帰りの電車でもよく目にする。基本的に週刊誌は好きではないのであまり見たくないが、なぜか見てしまっている自分がある。
211	20代・女性	どの作品も一見あまり関わりがないのではないかとと思われるものが多いですが、それぞれの写真に関する文章を見てみると、意外な関係性が見えてとても面白かったです。特に、印象に残った組み合わせは13番です。今では当たり前と感じている、また身近に感じている皇后や東京駅ですが、歴史的なことを考えると今と昔では関係性(天皇と市民)が変わっていることを改めて感じられ、とても興味深かったです。
212	20代・男性	今回展示は朝日の写真と後藤ゼミとの比較が興味深かった。特に後藤ゼミの作品は過去(昔)の作品もあり、時代の変化や現在との違いがいろいろ考えることができよかった。11番の電車の中の写真や15番の原宿の約20年前の写真は、時代の変化や生活の変化を感じるものだった。
213	20代・男性	一見組み合わせがないように思える作品同士がつながっているという発見が面白さを際立たせていると感じた。
215	20代・男性	05の「ちょいと一局」が面白かったです。写真にはバーで立ちながら外国の若い女性と日本の若い男性が一局打っていました。囲碁という娯楽が行われる場所は家か公民館などの施設が多いと思います。楽しむ人の年齢層も60歳以上の方が多くです。しかし、バーというおしゃれな空間を利用することで囲碁という娯楽が全然別物になっている効果を写真から感じる事ができました。どういった層が楽しんでいるかという問いは社会にどういった層が楽しめる場所が存在するかということを教えるような作品だと思いました。
217	20代・男性	空間に溶け込んだ伝統や歴史、思いを伝える写真だと思った。(16について)個人空間の創出と公共空間の創出の両方を感じ取る。携帯、スマホに集中する個人と同調する周りの人といった具合である。(11の作品について)都市化の進んだ地域、都心、下町など東側の作品が多い。青梅や郡部など一般の人がイメージする東京ではない西側の東京作品も見たい。
224	20代・女性	普段何気なく見ている東京の風景を解説付きで改めて見ると、新しい発見があって勉強になりました。ガラスの靴の写真と、靴磨きをする女性の写真が印象的でした。
231	20代・男性	いろいろな場面の作品があり、すごく面白かった。その中でも、「気づけば中吊り」にすごく共感しました。私も毎日満員電車や人の少ない電車に乗りますが、「視線誘導効果」に引っかかっています。
232	30代・男性	新聞と後ゼミ作品の違いが明瞭で非常に面白いと感じました(新聞のタイムリーさと後ゼミの奥行き)。現役生の作品も見てみたかったなあと思いました(数点でも)。“過去作品の今”なんて企画も面白いのでは、などと考えながら見させていただきました。とてもよかったです。皆様お疲れ様でした。
235	20代・女性	新しい作品(今年撮ったものなど)があったらさらによかったと思います。
238	20代・男性	さまざまな種類の展示作品があって面白かったです。特に気づけば中吊りという展示作品で電車に乗っているときに無意識に広告に目が行ってしまう視線誘導効果というものは確かにあるなと思いました。
239	20代・男性	07公共性と私性の折り返いという作品が特に興味深かった。この作品が作られたのは1998年で、ちょうど私たちが生まれたころだ。この当時の携帯の登場は、公衆電話を衰退させるもので、時代の移り変わりを強く感じた。海外では、電車での通話をとがめられることは特にないが、日本ではタブーとされていることがある。「公共」と「私」の関係は日本ならではのところもあると思う。
243	20代・男性	「身を委ねて感覚を研ぎ澄ます」では「東京」らしさのある新宿駅の人ごみにおける身を任せたり、時には人ごみを掻き分けたりという形。形は違えどヨガの委ねてハンモックによって感覚を研ぎ澄ます行為、その2点が重なって面白かった。

248	20代・女性	16番の作品が一番印象に残りました。現代化していく今と昔の歴史・ものを残していくちょっとおかしな風景が面白いなと思いました。銀座の「金と神」を共存させているけれどパイプと鳥居の不可思議な場所であり、そこに神を感じられるのかというところと笑ってしまうところが東京らしいと思いました。
249	20代・男性	キャプションがわかりやすかった。冷たい飲み物があればよいと思う。
253	20代・男性	TUKIJI-東京マグロストーリーの紹介文が印象的なので選んでしまいました。マグロ目線面白いです。
254	20代・女性	それぞれ作者の個性が出ていて、見た目も色鮮やかなものもあり楽しかったです。考えさせられる写真もあり、奥深いなあと思いました。
257	20代・男性	08朝日新聞の写真がとても良い。見ただけで惹きつけられる。11考察が面白い。みんなあたりまえにやっているけど写真で見たら異様だと思う。12ゼミ生の写真が良い。昨年も見た作品ではあるが、“写真力”はかなり高いものだと思う。
262	20代・女性	朝日新聞のもの紹介文に、社会学的観点からの考察があってもおもしろいかなと思った。16についてGHQに抵抗する日本があったらうなと想像できる。写真で円の中に女性の姿があったのが印象的だった。
264	20代・女性	普段東京に住んでいますが、写真を通すと別の視点から東京を見ることができるなと思いました。過去の写真と比べることが東京の変化がわかりよかったです。
265	20代・女性	ルミネエスト、遠距離通学、都内の駅の身のこなし方など共感できる内容が多く、地方から通っている私も東京人なのだなと思った。
273	20代・男性	見たものを記録できる写真は、なければ形に残らない風景を形にあるものとして残せるため、普段気付けないことを気付かせるきっかけになると感じた。16番の作品もただその場で眺めるだけでは気付けないことも、じっくり見て新たな意味を気付かせているように感じた。
289	20代・女性	3番の対比が興味深かった。
290	20代・男性	選んだ3つ(3.9.12)ともキャプションがわかりやすくて良かったです。3.12はキャプションもさながら、写真もとても良かったです。
291	20代・男性	特に力強い作品と感じたのは12番です。写真に写る人が強い意志を持っていることがピンピンと伝わります。一方で6番は、人の欲をそそるために「物」を機械的に作っている点が面白いと感じた。16番は、形を変えても、意味を人々に感じさせようとする歴史の力を感じた。
294	20代・男性	川崎でラップをしている若者の写真を見て、この場所なら何でも吐き出せるという、欲望の浄化としての機能を果たしているのではないかと感じた。また、テレビ番組でもラップバトルをしている番組があるが、それが日常に自由にできる場所として、役割を果たしているのではないかと感じた。
295	20代・男性	15の作品に衝撃を受けました。遠くから見ると作品の仕掛けにまったく気付きませんでした。近くからよくよく見ると専用のシートに背景が描かれており、非常に面白く感じました。
296	20代・男性	朝日新聞とのコラボ展示ということで、一目見て関連を感じるものか、少しひねった視点で関連性のあるものなどもあって面白かった。90年代のゼミ作品と近年のゼミ作品のキャプションの雰囲気は少し変わっているのも長年続いているならではの変化なのではと感じた。
300	年齢性別記載なし	「対」で展示された2つの作品を結ぶキーワードが秀逸!!朝日のキャプションを読んだ後、日大生の作品のキャプションを読むと少し冗長に感じてしまうのはあしからず。いずれのパネルもその完成度の高さに感服しました。

301	50代・女性	05番、碁カフェは見られる意識を持っているのが新橋ぼ将棋は将棋をするために立っているのが見られていることを感じている。両者とも不特定多数の人から見られることでいつもと違う対局になっていると思う。16番、人は物を捨てたり壊すことはなかなかできないという深層心理が表れていると思う。それが神と繋がってればなおさらです。そしてそれは先祖代々続いている家をはなれたり処分することをためらう行動に表れるのだと思う。しかし、東京は多くの人々が集合離散を繰り返して成長している街なのでこの心情とどうやって折り合っていくか難しいかもしれない。18番、すべての物が東京の集まりそして散っていくことを表している。それは東京は物を消費するところであることをものがたっている。あらゆることを消費することが1つの東京の魅力となり、人々をひきつけるのではないかと思う。でも、消費するだけではアンバランスなのでこのままでは大丈夫かなと心配になります。
323	50代・男性	タイトルやキャプションの上達法は新聞や雑誌のタイトル、キャッチ、リード、本文、キャプションがどのように振り分けられているか。コンテンツ全体を把握し簡潔にまとめるトレーニングをすることです。これは将来社会人になって企画書作成やプレゼンを作る際に役立つので数をこなしてみてください。
341	20代・男性	写真から感じられる現代社会の闇と老いが明確に表現されていた。普段何気なく通り過ぎていく空間の中にも様々な社会学が隠されていると感じた。07番の『言葉と音のバトル』では現代社会を生きる若者が自分自身をラップという一種の芸術で表現されているというのが写真からひしひしと伝わってきた。また、電車の中で沢山の人がいる中で個人個人が携帯電話に夢中になっているのも群衆の中の孤独だなと感じた。
346	20代・女性	朝日新聞と日本大学の展示がすごく良かったと思います。一見全く関係ない写真が何らかの繋がりがあるのは社会学ですね。
363	60代・男性	東京都、東京人のあり様を数々の写真で表すのは難しいことなのでしょうが、それぞれ写真はわかりやすくとても良かった。都心の生まれ育ちなのでどの写真も実際の光景が目には浮かびますが郊外にも焦点をあてた作品を期待します。
364	10代・女性	どの作品もセンスが良くすてきでしたが、特に15番と16番が気に入りました。15番はどちらも街風景の溶け込む工夫がなされていて17年経っても人の知恵が変わらない所が個人的にはツボでした。16番では「神社」が周囲に馴染むように作られていたことを初めて知りました。歴史を重んじながらも現在の生活も大切にその工夫とチョイスセンスに脱帽しました。
365	20代・男性	2つの写真組み合わせることで社会の中でなんとなく人々が持っている共通項的な考えを浮かび上がらせようとする試みはとても面白く感じた。
366	20代・男性	朝日新聞の方に実際にインタビューしたと聞いたのでインタビューを通してわかったその写真の裏側見たいなものを載せても良いのかなぁと感じた。
371	20代・女性	直感的に感じ取れる写真もあったが、中にはその写真の深い本質的意味をはかりかねるものもあった。公衆電話が並んでいる風景など今では写真でしか見ることのできない叙景をみることができ、現代との様々との比較をすることもできた。
372	20代・女性	文理学部OGです。5年ぶりに訪れた大学で興味が湧いて入ってみました。写真もキャプションも興味深かったです。沢山のの方にみていただけたら良いと思う展示でした。
377	20代・男性	いくつか目を引く作品があったがその中でも07の作品が良いと思った。川崎駅は地元の駅なので毎日のように利用していてサイファーを見たことも何度かある。日本語ラップは英語と違って言葉の理解が必要と書いてあり深いものだなと感じました。年齢も性別も何も関係ないというところはすごく好きだなと思いました。
378	20代・男性	「足下見つけて55年」という作品が一番印象的でした。写真に写る背中を丸めて黙々と仕事に打ち込む姿にも知り合い見られたくないという気持ち、ホワイトカラーのイメージのある新橋をあえて仕事場を選ぶ姿勢を見ると、一種の見栄えのようなものも感じました。写真から一人の人間の生き様やプライドをひしひしと感じました。

380	20代・女性	写真で語る東京の社会学を2年の前期「都市と地域の社会学」の講義で課題として私も取り組みました。自分の撮ったものとは全く違う見方が東京にはあるんだと思いました。
381	20代・男性	全く共通点がないような2枚にもそれぞれ共通点あってそこからストーリーを作り出してしまうのがとてもできることではないと思った。日々の世の中の出来事やイベントにも過去や未来に繋がる物があるのかもしれないと感じた。
383	20代・男性	こじつけ感が強かった。外観に張られている大量のポスターは不必要に感じる。
384	20代・男性	解説文は上だと身長が低い人にとっては見えにくいのではないかと感じた。矢印は順路なのでしょうか？
388	60代・性別記載なし	朝日新聞とのコラボとは、ずいぶん変化を持たせたと感心しました。ただ、対比している意味がわからないものもあるようなので意図が伝わるようなコメントがもう少しあればいいなと思いました。
391	50代・女性	毎年楽しみにしています！！社会学ならではのきりとりうーん！！うならされます。社会は変化し続けその年その時の表情とても面白いです！ありがとうございました！
399	20代・女性	この展示会はとてもいいと考えます。私は外国人としていろいろ知らない日本社会の側面を見ます。2007年の絵馬の写真を見ると自分が大学院の試験を受験した時日本人のように絵馬を書きました。そんな多くの人々の願いを集めてきてあのときの気持ちに思い出します。この展示会は生活の中で小さい部分が見えます。とても有意義でした。
405	30代・男性	卒業以来、久し振りに母校に立ち寄る用事があり、偶然展示に出くわしました。後藤先生のゼミは10年以上前から人気で、それを含めて懐かしく思う。
406	30代・女性	2002年卒で授業を取っていました。今ではメディアの仕事をしています。ちょうど本日、バンクシーの書籍の企画を通したところで何か縁を感じます。現在はロンドンに住んでいます。
407	20代・男性	特に02番のゼミ生の作品がよかったです。「客観性のない人情を謳うだけの作品」にならないよう心掛けたと書いてありましたが、話を聞いて知ってほっとしたことが文章や写真からにじみ出ている気がしました。確かに写真は記者の方たちの方が上手ですが、この一枚には多くのことを想像させられました。
408	30代・男性	あえて時代の異なる似たテーマの写真を並べることで、時代を超えて変わらない部分、大きく変わっているものが浮き彫りになっており興味深かったです。
409	20代・女性	この"写真で語る：「東京」の社会学"展を通じて、いろいろな感想があります。これらの写真は一つだけの領域ではなくて、多い側面からこの社会を描きます。私にとって、社会学の魅力点は単に教科書にあるに限らず、私たちの日常生活にも深い関係を持っています。勉強した社会学の知識は日常も使うことができます。たとえば、11番の『同型の自由意志』の作品が、2016年大ヒットのポケモンGOをやっている人の姿と電車でスマホをじっと見つめる人の姿を見られます。私たち社会学を勉強している人にとって、これらは単純な人の姿ではなくて、社会問題が反応することができます。
411	20代・女性	原宿駅、明治神宮辺りの歴史と変化から、今の日本人、特に若い日本人の国家意識がある側面で見える気がします。桜の下と町の隅に、辛いけど諦めずに生きる人たち。とても衝撃でした。都市の中で、人々が同じ空間にいても、それぞれ違う世界（階層）で精一杯生きています。
415	40代・男性	映像作品が見応えありました。
421	50代・女性	毎年来ています。今までに作ったものから、新しい考えを深めるアイディアは面白いです。
422	30代・男性	丁寧な接客をありがとう。
424	20代・男性	このような発表ができるのは羨ましく思う。
427	20代未満・男性	時間が余ったから来た。良い。
428	40代・女性	猫の散歩のついでに来ました。来年も来ます。

429	20代・男性	「生命の足跡」、この写真を見て本当に衝撃を受けた。桜の美しさと生活の辛さと一緒に写真へ入れており、新鮮な対比だと思います。自ずと自分が社会に存在する意味はなんだろうと考えています。
430	20代未満・男性	様々なテーマがあって良い。
431	40代・男性	良い出来でした。
433	20代・男性	対立している物が同じ場面があることに衝撃を感じた。
434	20代未満・男性	とても興味深い内容が多く、じっくり楽しむことができました。
437	30代・男性	文理キャンパスいいね～。
439	20代・男性	長谷川くんの案内が素晴らしかった。また来ます。
440	20代・男性	朝日新聞最高！！
441	20代未満・男性	素敵な企画をありがとう。
443	60代・男性	2011年度の"映像フィールドワーク"の映像が、面白かった。
444	60代・男性	No.18はキャプションがいいですね。比較的良好な作品が多いですね。No.07とNo.11は時代の流れを感じますね。
445	20代・男性	日常的な写真が多くて、留学生として日本の日常文化を感じてよかったです。
450	20代・男性	コーヒーや紅茶の提供があるのはすごいと思った。
452	20代未満・女性	後藤先生の演習も候補の一つにしています。活動的なゼミですね。、
454	60代・男性	毎年楽しみにしています。
456	20代・男性	テレビで流していた映像が見応えあって、面白かったです。
457	40代・女性	一見、二つの作品の共通性は分からなかったが上の文章を読んだら理解できてすごかったです。
458	30代・男性	パネルの光沢が強すぎて写真が反射してしまっているのではないかと。03後藤ゼミの作品は小学校（私立）が多い。東京ならではないか？今では公衆電話ではなく、小学生でもスマホをいじっている。
459	20代・女性	出身が大阪なので「天皇」や「国会」はテレビの中だけに感じられるが、東京はそれらが身近に感じられる場所だと思った。
460	60代・女性	忘れていた日常の写真もあり、時代に変化がわかります。主人は世田谷生まれ、私は千代田区生まれどちらにも日大があります。ぜひ、次回は世田谷、千代田の社会学展写真をよろしく。お疲れ様。
462	60代・男性	20年前の被写体は変わるが、人も物も社会も本質は変わらないですね。東京文化史として25周年作品集を作ったらいかがでしょうか。
463	20代未満・男性	いろいろな社会の一瞬からいろいろな共通事項を見出して面白かった。他学科の学生だが、社会学も面白そうだなと思った。
468	40代・女性	毎年楽しみに拝見させていただいております。今年の企画も興味深く面白いですね。
472	50代・男性	入学してからの学習の成果がよく出ていると思います。社会学科の学生の目で感じたものを見ることができて面白かったです。
475	60代・男性	新聞社の写真だけではなく、後藤ゼミの作品も併設されていますが、来年はもっと幅広い作品を掲示されてはいかがでしょうか。
477	60代・男性	力作が多くて全部に○をつけたい気持ちでしたのでアンケートを提出するのがとても大変でした。映像を見れるのはいいですが、じっくりと写真を見ている時に少々うるさいかなと思いました。それと今を切り取ったものかと思っていると過去のものがあったりします。その混在には意味があるのでしょうか。
478	20代・男性	写真や映像など、幅広く様々なプロジェクトをやっているなと思いました。

479	20代・男性	貴重な機会を作ってくださいありがとうございました。ぜひ、また開催してください。また個人的には07の作品の携帯電話のアイロニーが好きです。携帯の普及と、それに伴って用途が変わった公衆電話の様子が良いと思いました。
480	20代・女性	08の作品では、ルミネの廊下の集まる人が広告になっているという認識はなかったので、文を読んでハッとした。15工事現場のデザインはオシャレだと思った。日常風景がこんなにたくさんのメッセージや歴史があるのだと気づききっかけになった。自分は何も知らないと思ったし、学べば面白そうだと思った。
482	30代・女性	温かい飲み物以外も欲しい。
483	20代未満・男性	社会学科でおもしろいことやってんなと感じた。
484	40代・男性	コーヒーにはアイスもあると良いと思いました。
487	20代・男性	毎年観ております。今後も続けてください。
488	60代・男性	下高井戸、桜上水の住宅地を移すビデオを上映していましたね。私は4年前の11月に渋谷区桜丘町から上北沢一丁目に転居いたしました。当地の環境がとても気に入って、本当に転居してよかったです。東横線、田園都市線沿線よりはるかに良いです。井の頭線の浜田山も徒歩25分、小田急線の経堂も20分。東横線、田園都市線は開けすぎ？で名前、聞こえは良くても、京王線の方が住むには断然に良いと自信を持って言えます。まあ、渋谷、恵比寿、中目黒の住宅地は高いだけで最悪の環境悪化ですね。上北沢、桜上水、下高井戸は地味でも最高です。
489	60代・男性	私は約50年間新橋で仕事をして過ごしてきました。靴磨きのおばさんには人生観を知りましたことを思い出しました。これからも社会との関わり合いを大切に取り組んでほしい。11月15日朝日新聞にて本プログラムを発見しました。
490	20代・女性	ライティングは意図的に数を減らしているのですか。
491	50代・男性	楽しかったです。頑張ってこれからの社会を誰でも楽しく過ごせるようにして下さい。
499	20代・男性	来年は新規の作品を期待しています。
500	20代・女性	昨年とはまた違う形で面白かったです。ありがとうございました！おつかれさまです！！
501	10代・女性	会場が少し暑いと思いました。
502	10代・女性	今年一年生で、二年生の演習をどこにするか悩んでいます。この展示は選択する上で参考になりました。
503	10代・女性	去年も来たのですがそのときは高校生だったので社会学科の学生になった今見ると改めて興味を持ったり「すごいなー」と思うだけでなくいろいろなものを感じられました。面白かったです。
504	60代・男性	幾年ぶりだろう…今回の（自分から見れば文理・社会学科の後輩）作品を見せていただきました。感激して涙が出そうになりました。これからもこの企画が続けられることをお願いいたします。（同窓生Kより）
519	10代・女性	どこの演習に入ろうか迷っているので見に来ました。15番の文章がよかったです。
520	20代・女性	後田くんどこですか。
522	20代・女性	金曜日の2限の時間に受付にいた人がとても愛想がよく素敵でした。
523	20代・男性	写真があるだけでその中の世界に入り込んだ感覚がとても面白かったです。知らなかったこともたくさん知ることができたので今度自分でもいってみたいと思いました。
535	40代・男性	朝日新聞でこんなコラムがあるのは知らなかった。面白い試みだと思う。
545	10代・女性	朝日新聞とコラボしていてすごいと思いました。
549	60代・男性	近所の住民。25回目とのこと。今まで知らなかった。本日の朝日新聞の記事で知り来ました。その時その時の世情として意義ある記録ですね。面白いです。

551	10代・女性	東京を知れてよかった。
552	20代・女性	7番が良かった。
553	20代・男性	毎年楽しみにしています。ありがとうございました。
554	60代・男性	ライトが当てられている所と当てられていない所の違いは何ですか？
555	30代・女性	2番。これまでの社会では主に日本人の中での社会階層問題だったかもしれないが、今後は外国人（労働者）を含め、より大きな枠組みの中での問題と考える必要がある社会となるのではないかと感じた。今後の分析や社会の変化に興味深くもあるが、恐ろしくもある。
556	10代・男性	はじめ映像・写真といったら芸術系の学部で行うものと思っていた。「写真に写りこんでいる社会現象」その発想はいいと思う。しかし解説+題名+写真では、単なる写真大会のようにも思える…。
558	20代・男性	会場の配置が素晴らしかった。
560	60代・男性	何気ない東京の風景を切り取り、たった1枚の写真に表現する取り組みはとても興味深い。その時の世相や文化とともに時代の変化を感じる。これからは私自身、こういう視点で街を眺めてみることにしよう。これからも展示発表期待しています。
561	40代・男性	本展の目的が伝わりにくいと感じました。朝日新聞と組んだことで何を変えようとしたのか振り返る必要があると思います。2枚をつなげる説明文。大変なご苦労があったと思いました。4年生の皆様お疲れ様でした。3年生の皆様来年も更なるご活躍を。
562	10代・女性	4番の写真が印象的でした。ためになるお話ができて良かったです。
568	60代・男性	学科として定点観測があっても…。
578	20代・男性	文化祭のときにみたのと同じやつがちらほらあって文化祭でみた自分にとっては新しい発見のようなものは薄かった。
590	60代・女性	さまざまなテーマに沿って朝日新聞の報道写真に組み合わせる写真の展示方法が新鮮でした。学生らしい視点に立った写真がどれもすばらしかったです。来年も同じ展示会があれば訪れたいです。
592	60代・女性	映像のリアリズムに社会学的想像力を加えた解説は面白いと思いました。
594	10代・女性	演習選びに悩んでいるのでこういう見学できるイベントはありがたかったです。
595	10代・女性	普段なら気づかない視点で取られている写真はとてもひきつけられた。将来どんな風になりたいからゼミに入ったなどもっと聞きたいと思った。
602	30代・女性	会場が少し寒かったです。
603	20代未満・女性	特に2番と15番の作品が印象に残りました。大きな桜の木の下にぼつんと一人座る男性の姿に、切なさを覚えました。15番の作品は「写真で語る」というコンセプトをもっとも表現した作品だと思いました。「社会学の方法1」の授業で先生のお話を聞いてゼミの活動に興味があったので、来て良かったです。
604	20代未満・女性	過去の後藤ゼミ作品と共通する部分があって全然違うテーマなのにどこか同じものを感じた。見たことがある場所の写真だったり、初めて知ったことの写真だったり、ありふれたものの写真だったり、どれも撮影されたときの現場の雰囲気、撮影者の気持ちを想像すると面白かった。
606	20代・男性	どれも興味深い作品で、鋭い視点から考察されていて面白かったです。
607	20代・男性	おそらく4年連続で参加しました。今年に例年とは異なる展示でしたね。社会が時代を切り取った作品に共通性を見出す試みは時代を超える普遍性を見つける視点につながりそうですね。
610	50代・男性	朝日新聞との絶妙なコラボレーションがすばらしい。東京の風景のシャッターチャンスを見つけられるのが決め手でしょうが、相当な場所を回らないと見つけられないと思います。

612	20代・女性	演習やゼミの参考になりました。また写真からあらゆるメッセージが読み取れて楽しかったです。ありがとうございました。
613	20代未満・女性	今、演習を決めるのに悩んでいたので参考になりました。
616	20代・女性	外で声出しをしていた金髪の人がよかったです。最高！！
618	20代・女性	スーツ姿の皆さんがかっこよかったです。わかりやすいキャプションでした。
619	20代・男性	企業が消費者の欲求を刺激するための装置を取り上げた展示がいくつか見られたが、2番などはこれらと異なった視点であり特に目を引いた。都心という舞台にあって、市場原理だけが東京の風景ではないという点に多く目が向けられていて面白かった。
620	40代・女性	昨年、観に来てよかったので来ました。また来年も来ます。
621	20代未満・女性	とても見ごたえがあり、様々なことを学びました。写真研究会で地理学科に所属しているので、写真の撮り方も社会地理学的視点も大変参考になりました。社会学って面白いですね。日大の写真で気に入ったもの→足下見つめて55年/Silent~/3.11は~/Please wait/パイプにおまかせ/日本橋~/TUKIJI~ 朝日新聞の写真で→きらめきの回廊、桜の下、僕のシンデレラへ、ちよいと一局、言葉と音のバトル、夏の幻 社会的トピックを芸術性やインパクトを考えつつ切り取るのは難易度が高そうだと感じましたが、やりがいがあって面白そうですね。ぜひやってみたいです。
626	20代・男性	普段気づかない風景を写真で展示していて、面白いなと思いました。また、文章を読むと、個性豊かで面白いです。
627	20代・女性	村井君、長岐君、後田君がとても親切な対応でした。ありがとうございました。
629	60代以上・男性	ようやく見にこれました。キュレートするのが大変だと思いましたが、朝日といい感じでコラボしていると思いました。うちのゼミもこういうのやろうかな。ネットや本とは違いますね。
633	20代・男性	コーヒーがおいしかったです。個性あふれる写真が素敵でした。
635	60代以上・女性	二枚合わせる発想が面白いです。ぐっと来たのがシンデレラの靴、自慢したくなる話の中吊り広告。面白そうなゼミですね。
636	60代・女性	ゼミ生の皆様、先生、関係者の皆様、今年も開催おめでとうございます。展示会を通して学部内や外部と交渉する機会が多かったかと思います。相手を尊重しながら自分達の要望を通し形にしていく、という経験は社会に出てから大いに役立ちます。ぜひこの経験を糧に豊かな学生生活と、社会で活躍されることを応援しています。
638	40代・男性	学生さんたちの着眼点も面白いものがありました。一番好きなものは4です。古い時代のものは写っているものそのものがなつかしいし、今はなくなっているものもあり、興味深く拝見しました。ガラケーとか公衆電話とか。16も面白かったです。
639	30代・女性	朝日新聞の写真と後藤ゼミの写真との組み合わせが今の東京らしさ（両極面からの）を表しているようで面白く感じました。写真のインパクトもありよかったです。
644	60代以上・男性	後藤先生の講義を公開講義で受講しました。この組み合わせの「その後」の追加も試みて欲しい。例) 公衆電話のあった跡とか…今も続く新橋将棋とか…。
647	40代・男性	朝日新聞とのコラボレーション興味深く拝見しました。さすがはプロ、写真の力と取材力はすばらしかったです。学生側も懐かしい作品があり、対比する企画は狙いがわかりやすく見やすかったです。企画の詳しい経緯はわかりませんが学生側から新作を出すのは難しかったのでしょうか？現在と過去の比較だけではなく2~3くらい現在と現在の比較があってもいいのでは？と思いました。

648	40代・女性	今回はいつもと違い、朝日新聞とのコラボレーションということでまた違った面白さがありました。朝日新聞の方はさすがプロ、写真がとても見やすく美しいと思いましたが、学生の方もフットワークの軽さで様々なバリエーションがあり文章が練りこまれていると思いました。せっかくの比較、研究した文が、上のほうに小さくあってもったいないように感じます。
650	60代以上・男性	2番について…終戦後の社会を知る者にとって、55年間も靴を磨いている女性がいるとは…、当時は復員兵、子供、未亡人など生活のため、靴磨きで生計をたてていたと思います。 11番について…携帯は貴重な人生の時間を奪う物だと心配しています。 初めて見学しましたが面白い企画だと思います。
655	20代未満・男性	哲学科の講義でたまたま来て見た。
659	20代・男性	学生の作品は「一大学生」という立場での撮影のため、「個人」へとカメラを向けられていたと思った。しかし、風景から社会をうまく映していると感じた。一方で朝日新聞の写真は芸術としての写真も沢山あり、面白かった。
664	40代・男性	公衆電話も写真等、一年一年の歴史が感じられた。ありがとうございました。
666	50代・男性	報道写真に劣らない強いメッセージ性をゼミ生の写真からも受け取ることができました。
667	50代・女性	毎日の何気ない風景も、見方を変えるといろいろと考えさせられることがあるのだと思いました。よい刺激になりました。ゼミ生の皆さんもとてもよい経験をされたことでしょう。お疲れ様でした。
674	20代・男性	パネルが大きく見やすかった。上のキャプションが何のキャプションがわからなかった。
675	20代・男性	ゼミ生の対応がよかった。
678	20代・女性	5番の物が今も行われているのか気になりました。
679	30代・男性	キャプションの納得感はもちろんですが、タイトルと写真のインパクトも含め13番が印象的でした。
680	40代・女性	10年以上、毎年楽しみにして観に来ています。新聞社の写真は学生では撮ることが難しい場所の写真もあり、対比材料に広がりが出る点ではよいですね。対比の時点がバラバラなのが残念です。2015-1998があったり、2017-2010があったり、刻々と変わっていくモノ、15年ぐらいうれば変わるモノ、平成の初め、30年たっても変わらないモノを分類し、そこから今後どんな速度でなにが変っていくのか研究してもらいたいです。
686	20代・男性	特に10番は、後藤ゼミ生の鋭い切り口が朝日新聞の写真に新たな見方をもたらしていると感じた。ベビーカーを並べて一体感と解放感を現している様子に、どこか権力作用と一種の怖さを感じた。その正体を、「緑石の宴席」に見られる画一化を結び付けて解釈することで納得がいった。解放されているようでいてどこか束縛される矛盾を巧みに映し取っていると思う。
688	60代以上・女性	日ごろ見慣れた空間も写真という形に切り取られると違った風景になりますね。
689	40代・男性	どうしても朝日新聞の写真に引っ張られていますね。ここ数年、被写体（世の中）が空虚になっているのが改めて感じ取れました。
690	20代・女性	カメラで閉じ込められた一瞬ですが、時間と社会は容赦なく変れていくことを深く感じました。命の重さ、集いの形、意識の出方など、様々な概念を用いた作品を観て、新たな解釈を楽しめながら自分の感性を改めて磨けることもできました。来年も楽しみにしております。
692	20代・女性	新聞社とのコラボレーションがとても面白いです。1番、若手力士を応援する姿にジャニーズJr.や地下アイドル、AKB48のランキングの低いメンバーを応援する人々のことを思い出した。義経びいきというやつか？6番、車内の人がスマホを見ていないことに驚いてしまった。10番、誰も座っていないときに座していると「迷惑」というのにみんながやっていたらOKとなる・わざわざエクササイズしなくとも子供をつれて外で運動することもできる。キャプションを見て確かにと納得しました。

694	40代・男性	新聞社のカメラマンが撮った写真と、いち学生が撮った写真を同じくくりで並べて「比較」するって言うのは、新鮮さを覚えたと同時に、「なんとも大胆な取り組みだな」と思わずにはいられませんでした。今回の取り組みを通じて、ゼミ生の皆さんが様々なことを学んで次回以降の展示へのFeedbackとなることを期待しています。
709	20代・男性	後藤先生自身の撮影した写真と文章が見たいです。
711	60代・女性	02の写真の時代に生きていました。
712	20代・男性	今年はテーマごとに写真が2作品ずつ並べられていて良い工夫だと感じた。
713	50代・女性	上映されている映画や個々の写真を見てとても懐かしく思いました。
714	20代・女性	個々の作品以外、去年のよかった作品も載せることが、とても良かったと思います。日常生活のどこでも社会学が存在していることがよく伝わりました。
715	50代・男性	プロカメラマンと学生カメラマンとでは写真の実力差があると感じた。しかし、経験をつんでいけば実力差は縮まると思う。
718	20代・男性	マーマレード作品のナレーションの方はプロの方ですかね。
736	20代・男性	社会で起きている様々なことを一枚の写真に切り取ってあって社会の構造がパッと見てわかるようなとても良い展示だと思った。社会学科の普段の授業だと社会学科はアンケートやインタビュー、論文解釈などを通して紙に文にまとめる研究が主になっているイメージがついてしまうが、このような「写真」や「映像」で社会を見ていくという手法があることを知れた。
738	50代・男性	必ず世田谷区立中央図書館にチラシを送ってくださいね。千代田線の中吊り、昔は雑誌の広告が多かったのだと思う。車体も古い。公衆電話、1998年でもまだこういう状態もあったのだなと思った。下高井戸って杉並区の地名なんだよなー。
739	20代・女性	目的がいまいちわからなかった。説明者求む。
756	20代・女性	共通点のないように見える写真から共通点を見つけ出し、組み合わせようとする試みが面白かったです。作品03→少女に魔法をかけているのは革靴よりも制服なのでは？ 作品10→赤ちゃんが楽しんでいることはわからない。少なくとも写真の赤ちゃんたちに泣いている子が多い。写真が悪いかもしれないが赤ちゃんが楽しんでいるとするのはおかしいのではないかと。
759	20代・男性	作品11に関して単国社会の中でケータイやポケモンGOといったような個世界を作るツールは時代が変わっても同じだと感じました。
766	20代・男性	朝日新聞の作品は写真のクオリティが高くパッと見の訴求性があるように感じた。後藤ゼミの作品はフィールドワークや調査によって判った背景がキャプションに読み込まれており読んでいる内に引き込まれるような作品が多いように感じます。
768	30代・男性	過去作品と朝日のアーカイブと比較化がメインのテーマと思いますが対照的に見せる手法が少しわかりにくかった。アーカイブを例えば5～10年のスパンでうまく対比できると面白いと思った。
769	20代・女性	自分が担当した写真があって嬉しくなった。そう当時と現在の写真が交わって新たな視点が生まれていると思う。
770	40代・男性	個人的にはキーワードとの関連性に「やや強引かも。」と感じた作品もありましたが、手法としては面白いなと素直に感じました。ただ、長年、この展示会を楽しみにかつ興味深く見に来ている者としてはこうした「変化球」も良いのですが「まだ見ぬ東京」を照らし出す「いつもの直球」な展示会も…という気もちょっとだけあったりします。ま、それは来年の楽しみに…。
773	50代・女性	組み合わせが面白いと思いました。自分では思いつかない作品ばかりです。自分の感性も磨かなくてはなと思いました。気がついていない東京を見ることができました。
775	50代・女性	02の組み合わせは今の社会のもつ不安を現すもので希望を失ってしまいそうです。対して18の組み合わせは現実的で生きる実感思い出させてくれ、救われる気がします。

776	20代・女性	Photostoryと過去のゼミ生たちの写真の対比について今年のゼミ生の皆様がその時間、年月の変化をどのように社会学的視点から分析するのかという点をもう少し詳しく知りたかったです。(各写真1点ごとの考察に留まっていた組み合わせた写真がどのように関連するのか、そこから何をどう導き出しうるのかという記述が足りないと感じました。)
785	40代・男性	私の学生時代は詰め込み授業、試験、就職活動と過ごしたが学んだことを覚えているか、今の仕事に活かしているのかは疑問である。このゼミなら社会をいろいろな角度から学んだことは有意義な学生生活だったのではないかとブックレットから感じた。若いことは羨ましい。
787	20代未満・男性	大学は専門的に学ぶものだと思っていたが展示作品を見て大学への印象が変わった。社会を別目線、また誰も触れないことが多く面白かった。
790	50代・女性	普段の見慣れた風景からこんなにも人や社会が見えてくることに感動した。
796	40代・女性	過去作品を改めて見ると以前の東京との連続性、断続性が分かり面白いです。
797	30代・女性	文章で語るということは言葉をつくさないといけないけど、写真は一目みてわかることが多いので偉大だと思った。
798	30代・女性	人の視線を気にする年ごろの視点だと感じた。
799	60代・女性	世田谷生まれ、今も住み続けている東京人としては被写体のすべてが懐かしいです。朝日新聞の読者でもあるがPhotostoryの写真も記憶にほとんどなく、忘れるためにあるものが思い出なのだと思う気がした。自分史を書いている私にとって参考になる企画でした。
801	60代・男性	年々人々の暮らしが移り変わってきている様子が見られて良かった。素晴らしい企画だと感じました。
802	30代・女性	2002年卒の梶原です。久しぶりに展示を見に来ました。とても素晴らしかったです。朝日新聞と後藤ゼミをつなぐキャプションが上にあるので、最初気づかず途中で気づきました。そこが少しもったいなかったと思いました。また来年もきたいと思います。
803	60代・男性	非常に興味深くみさせていただきました。面白い視点での観察が多くありました。
805	50代・女性	学生の感想等、取り組みで楽しかった事をアピールする場があってもよいと考えます。これから社会で働く仲間として、広い視野に立って物事を知る姿勢を感じ取れました。
809	50代・男性	目を引く写真、それに伴う小気味良いコメントが、とても全体が活きている様子を感じ取れた。
812	40代・男性	No.3、越境通学の小学生とガラスの靴を、遠い夢という視点で結びつけた視点が良い。No.11、個人的にも携帯を持ったのが遅く(2006年)、この間のモバイルの発達が垣間見えておもしろい。毎年学生は入れ替わる中であっても、展示を続けられていることに敬意を覚えます。会場でしばらく映像も見ておりましたが、月見湯は、当イベントの帰りに寄ったことが有り(東京銭湯めぐりもしています)、下高井戸シネマ、近々行きたいと思っていたところでした(三茶シネマ閉館が残念)。今回はプロ(朝日新聞)の作品と学生作品を社会的に結びつける新たな趣向でしたが、作品を借りる苦労や、商店街への営業など精力的に活動されている様子、何よりと存じます。今後もますますの発展を期待しています。
813	60代・男性	高齢化の割合が高くなっていく東京において、1.若者から見た高齢者の人の社会学、2.高齢の人から見た若者の社会学、3.また、両方から見た東京の将来社会の展望等、を予想できる、「ソシオ・フェスタ」等々の展示があれば最良だと思う。
818	60代・女性	新聞の紹介で感じた、新・旧だと思い来ました。古い時代の写真を期待していました。
821	40代・男性	一番印象的な写真は、03「東京型通学スタイル」。納得できるキャプションは、09「東京を生きる」。後藤ゼミOB
822	20代・男性	細かいところまで目を配っているように思われました。公共空間と私的領域、町の中の政治性などのテーマは東京のみならず多くの町で、そのレンズを通してみると面白いと感じました。
827	20代・男性	社会学的分析が足りないのでは？

831	50代・男性	デジタル空間やゲームに癒される人がいるのでしょうか？あらためて問われるとどうなんだろうと思いました。
832	20代・女性	写真から現在、過去の東京社会学を分析、観察していく取り組みはとてもおもしろかったです。様々な視点、トピックスからの考察があって楽しめました。08.のルミネの写真に付随する文章には、そこにいる、うつる女性のモノ化を思わせることが書いてあり、いかがなものかと思えます。
834	60代・女性	靴磨きのおばさんを見たことがありなつかしい。新宿京王通りの緑の公衆電話、今でもあるんですね。なつかしい写真が見られてとても良かったです。
836	40代・女性	No.18は作り込みすぎでなくて好感が持てる。展示の意図が明確だと良かった。「組み合わせ」でなにをみせたいのか？プリントが暗くてテーマが見つらい作品があった。厳しいことを書きましたが、写真は好き、見ていて楽しかったです。
837	20代・女性	写真もインパクトがあって、文章も面白くて楽しかったです。普段見ている東京が切り取られていたり、普段目に見えていない東京があったり、東京面白いなって思いました。組み合わせ作品についてのコメントも良かった。
838	40代・女性	興味深い内容の写真ばかりです。ただ写真だけでなく比較対称があるときは（17番など）、グラフなどあれば分かりやすいと思います。写真は学生の作品と思えない程素晴らしいです。
839	40代・女性	とても楽しかったです。文章もあるので深く知ることができました。これからも頑張ってください。No.3越境通学生…まさに我が子。東京の小学生。なんとも言えない気分になりますが、実際は本人とても楽しく通学しています。
842	40代・女性	ごく普通だったが失われてしまった風景がとてもなつかしく感じました。No.6スマホのない、車内No.7公衆電話、スマホの出現で社会が変わったと思いました。朝日新聞の写真との組み合わせについてはどれも主旨がわからずひとりよがりな気がします。
843	30代・男性	時の流れによって様々なものがアップデートされており、過去と比較することで面白みを感じた。
844	50代・女性	地元で社会人になって世田谷に雪のプレゼントをした人のように、望む未来を実現すべく、社会に出てから変身してゆく情熱を持ち続けて、次世代へも伝えていったらいいです。
847	60代・男性	写真は作り物である。コンピューターを使って素人でも加工が可能な時代。このため昔よりもメッセージ性が強くないと印象に残らない。No.5は二枚ともうまく切り取っていると思う。No.11のスマホも良い、ただ私も毎日見る光景だし、写っているかもしれないと思わせる面白さがある。No.12はメッセージ（古典的）、No.17左がおいしい、もっとアップでとるといいのでは。No.18まぐろはもっとアップでとるとりんごとの差が出るのでは。
850	60代・男性	朝日のコメントと後藤ゼミのコメントのフェイズが合っていないように思われるが？写真の年代がまちまちで現時点から見ると、意図がずれているのが気になる。
851	30代・女性	1.パンフレットとアンケート…左から右へ来場者は見ていくので、パンフレットも同様に、左から右へ見ていくように作成すると、来場者は理解がしやすい。また、それに合わせてアンケートの配列を作成すると、パンフレットとアンケートがリンクするので○をつけやすい。2.コンセプト…パンフレットもしくは、展示の最初に今回の「コンセプト」を分かりやすく掲示することで、来場者は、各展示の内容をより理解しやすくなると思う。3.ワンセットの対するキャプション…年代が異なる写真も多く、共通性を見出すときに時代が異なっていて「普遍性」を見出すことが重要だと思う。「普遍性」に対する深掘が浅く感じ、それぞれの写真、キャプションがどうつながっているのか？というゼミ生が導き出した「見解」を理解するのが難しいと感じるものが多かった。

852	30代・男性	<p>展示発表、お疲れ様です。毎年進化していくゼミ活動、素晴らしいですね。入り口でパンフレットとアンケートを手にして、一枚目の作品を見始めました。「あれ、作品をどう見たらいいんだろう。」と疑問に思いました。パンフレットを開き、真ん中あたりに「第25回目となる…」という言葉があり、「なるほど。」と理解しましたが、一番最初に説明があると作品がより分かりやすいと感じました。ブックレット、住所など載ってます。置いて大丈夫ですか？</p>
-----	--------	--